【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出日】 平成25年11月13日

【四半期会計期間】 第18期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

【会社名】ブロードメディア株式会社【英訳名】Broadmedia Corporation

【代表者の役職氏名】代表取締役社長橋本太郎【本店の所在の場所】東京都港区赤坂八丁目4番14号

【電話番号】 03(6439)3725

【事務連絡者氏名】取締役管理本部長 植 村 保 彦【最寄りの連絡場所】東京都港区赤坂八丁目4番14号

【電話番号】 03(6439)3725

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 植 村 保 彦

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所

(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次		第17期 第2四半期連結 累計期間	第18期 第2四半期連結 累計期間	第17期
会計期間		自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高	(千円)	6,321,422	6,323,097	12,968,695
経常損失()	(千円)	79,235	570,112	215,623
四半期(当期)純損失()	(千円)	99,642	695,977	424,504
四半期包括利益 又は包括利益	(千円)	100,952	661,296	341,929
純資産額	(千円)	7,263,671	6,171,470	6,930,591
総資産額	(千円)	11,487,203	11,652,014	12,529,881
1株当たり四半期(当期)純損失 金額()	(円)	1.53	10.67	6.51
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	58.4	47.8	50.6
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	63,680	485,769	1,002,278
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	970,077	267,459	1,976,989
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	186,141	12,666	469,760
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高	(千円)	2,758,526	2,223,456	2,960,949

回次		第17期 第 2 四半期連結 会計期間	第18期 第2四半期連結 会計期間
会計期間		自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日
1株当たり四半期純損失金額	(円)	2.45	6.54

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
 - 2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
 - 3.潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当社グループにおける各報告セグメントごとの主要な事業の内容等は、以下のとおりです。

(平成25年9月30日現在)

	(<u> 平成25年9月30日現在)</u>
事業内容	主な業務の内容	 主な連結子会社
ホームエンタテインメント	 ・クラウドゲーム事業(注) ・クラウドゲーム機「G-cluster」の販売及びクラウドゲームサービスの提供 ・通信事業者へのクラウドゲームプラットフォーム提供及びゲーム事業者へのクラウドゲーム機能提供 ・クラウドビデオ「T's TVレンタルビデオ」の提供 ・インタラクティブシステム「T's TVクラウド」の提供 	
映像サービス	・PC、スマートフォン、タブレット向け、ドラマ専門映像配信 サービス 「ドラMAXアリーナ」の提供	ハリウッドチャンネル(株)
CS放送会員サービス	・CS放送視聴に関する独自の会員制サービス「Club iT」の運営	
モバイルサービス	・モバイルサイト「ハリウッドチャンネル」等、複数サイトの 企画・運営・スマートフォンサイト「クランクイン!」等の企画・運営	 ハリウッドチャンネル(株)
教育サービス	・イーラーニングシステムを利用した単位制・通信制高校 「ルネサンス高等学校」「ルネサンス豊田高等学校」の運営・科学検定委員会の運営	ルネサンス・アカデミー(株)
その他サービス	・「ナショナル ジオグラフィック」日本語版公式サイトの 運営等	ルネサンス・アカデミー(株)
釣り専門チャンネル	・衛星一般放送事業「釣りビジョン」及び衛星基幹放送事業 「BS釣りビジョン」の番組制作、放送及び、ケーブルテレビ局 等への番組供給	㈱釣りビジョン
制作事業	・日本語字幕制作、日本語吹替制作、文字放送字幕制作、 番組宣伝制作	- プロードメディア・
番組販売事業	・ハリウッド映画等のテレビ局への供給	スタジオ(株)
映画配給事業	・劇場映画の配給、DVD/Blu-rayの発売、テレビ放映権の販売	
CDNサービス	・コンテンツを最適な形で配信するCDNサービスの提供	CDNソリューションズ(株)
デジタルシネマサービス	・プロードメディア®CDN for theaterの提供、及び上映システムの設計・販売及びレンタル ・映画館へデジタル機材の導入を推進する配給・興行向け	
	VPFサービスの提供	デジタルシネマ倶楽部㈱
ISPサービス販売	・「Yahoo! BB」ISPサービスの販売	
携帯電話サービスの取扱い	・「ソフトバンク・モバイル」の携帯電話サービスや携帯電話 端末の取り扱い	
ブロードバンド回線販売	・ブロードバンド回線「Yahoo! BB」の販売	
その他	・その他商材の販売	
	ホームエンタテインメント 映像サービス CS放送会員サービス 老の他サービス 釣り専門チャンネル 制作事業 番組販売事業 映画配給事業 CDNサービス デジタルシネマサービス ISPサービス販売 携帯電話サービスの取扱い ブロードバンド回線販売	まな業務の内容

⁽注)第1四半期連結会計期間より、「コンテンツ」セグメントのホームエンタテインメントにおいて、クラウドゲーム 事業を開始いたしました。

EDINET提出書類 ブロードメディア株式会社(E05269) 四半期報告書

当社グループは、技術プラットフォームを持つコンテンツ事業者として、独自性の高いサービスの提供を通じ成長を目指すことを経営戦略の基本としております。

当社グループは中長期的に更なる成長を遂げるために、以下の戦略のもとに事業を推進しております。

コンテンツサービスの持続的な成長を目指す 技術サービスの進化を加速させる

これまでは、「T's TV」、「教育サービス」、「デジタルシネマサービス」、「釣りビジョン」のBSデジタル放送の4つの事業に投資を継続しながら、将来の成長基盤を確立させることに注力してまいりました。

今後は、平成25年6月に開始した「クラウドゲーム事業」及び「T's TVレンタルビデオ」で構成されるクラウド事業に対して経営資源を集中し、さらなる成長を目指してまいります。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。 また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同期と比べ1,675千円(0.0%)増加し、6,323,097千円(前年同期は6,321,422千円)となりました。「スタジオ」「ネットワーク営業」は減収となりましたが、「コンテンツ」「放送」「技術」が増収となったことにより、売上高は前年同期と同水準で推移いたしました。

営業利益は、305,565千円の営業損失(前年同期は50,742千円の営業利益)となりました。前年同期に営業損失であった「放送」が営業利益を計上し、「技術」が増益となったものの、他の3つのセグメントが営業損失を計上したことが要因です。

経常利益は、570,112千円の経常損失(前年同期は79,235千円の経常損失)となりました。営業損失に加え、持分法による投資損失が増加したこと等が主な要因です。

四半期純利益は、695,977千円の四半期純損失(前年同期は99,642千円の四半期純損失)となりました。持分法適用関連会社であるGクラスタ・グローバル株式会社が行った増資に伴い持分変動利益133,637千円が発生いたしましたが、ソフトウェアの減損損失を計上したことや、子会社において税金費用が増加したこと、繰延税金資産の取り崩しを行ったことにより、四半期純損失を計上いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各セグメントごとの売上高及び営業利益の概況は、以下のとおりです。

コンテンツ

「コンテンツ」セグメントは、ホームエンタテインメント、映像サービス、CS放送会員サービス、モバイルサービス、教育サービス及びその他サービスで構成されており、テレビ・PC向けの動画配信、モバイル向けのコンテンツ配信、CS放送視聴に関する独自の会員制サービス及び広域通信制高校に至るまでの広範な事業を行っております。また、第1四半期連結累計期間よりホームエンタテインメントにおいて、クラウドゲーム事業を開始いたしました。

売上高は、前年同期と比べ30,924千円(2.3%)増加し、1,361,216千円(前年同期は1,330,292千円)となりました。教育サービスにおいて生徒数が堅調に推移していることや、今期から開始したクラウドゲーム事業の売上が寄与したことが、増収の主な要因です。

営業利益は、243,939千円の営業損失(前年同期は88,817千円の営業利益)となりました。既存事業であるCS放送会員サービスは縮小傾向にあります。また、科学検定の立ち上げ費用に加えて、クラウドゲーム事業におけるテレビ CMの出稿や、東京ゲームショウの出展ブース拡大等の先行費用を、上記増収で補えなかったことが主な要因となり、営業損失を計上いたしました。

放送

「放送」セグメントは、釣り専門番組「釣りビジョン」の制作、並びにBS・CS放送及びケーブルテレビ局等あての番組供給事業を行っております。

売上高は、前年同期と比べ394,702千円(23.2%)増加し、2,095,178千円(前年同期は1,700,476千円)、営業利益は70,322千円(前年同期は67,307千円の営業損失)となりました。

「BS釣りビジョン」の視聴料収入が順調に伸びていることや、制作売上が好調に推移したことが主な要因となり、 売上が増加し、営業利益を計上いたしました。

スタジオ

「スタジオ」セグメントは、映画やドラマ等の映像作品の調達、日本語字幕・吹替制作から、その作品の配給、販売を行っております。

制作事業は、受注が増加したことにより増収増益となりましたが、番組販売事業は、テレビ局への販売が減少したことにより減収減益となりました。また、映画配給事業は、配給作品の興業成績が不調であったことに加えて、DVD販売方法の変更により、従来よりも売上の計上時期が後ろ倒しとなっていることが影響し、損失を計上いたしました。これらの結果、売上高は、前年同期と比べ264,782千円(17.4%)減少し、1,253,725千円(前年同期は1,518,507千円)、営業利益は、66,053千円の営業損失(前年同期は106,714千円の営業利益)となりました。

技術

「技術」セグメントは、「ブロードメディア $^{ ext{@}}$ CDN」等のCDN(コンテンツ・デリバリー・ネットワーク)サービス及びデジタルシネマサービスを行っております。

売上高は、前年同期と比べ151,207千円(21.5%)増加し、853,660千円(前年同期は702,453千円)、営業利益は、前年同期と比べ9,309千円(54.0%)増加し、26,534千円(前年同期は17,225千円)となりました。デジタルシネマサービスにおいて、前年同期よりも機材販売が増加したことや、サービスを提供する映画館や配給会社の数が順調に伸びていること等が増収増益の主な要因です。

ネットワーク営業

「ネットワーク営業」セグメントは、ISPサービスや携帯電話サービス、ブロードバンド回線等の販売代理店として、通信回線販売業者等の事業者を通じて販売活動を行っております。

売上高は、前年同期と比べ310,375千円(29.0%)減少し、759,316千円(前年同期は1,069,692千円)となりました。ISPサービスの販売が減少したことに加え、解約引当率が上昇したことにより、売上は減少いたしました。

営業利益は、92,429千円の営業損失(前年同期は94,706千円の営業損失)となりました。上記減収となったものの、原価率が低下したことに加えて、販管費及び一般管理費を抑制したことにより、営業損失は縮小いたしました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ737,492千円減少し、2,223,456千円となりました。

(イ)営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、マイナス485,769千円(前年同期はプラス63,680千円)となりました。 当第2四半期連結累計期間に税金等調整前四半期純損失482,523千円を計上いたしました。また、売上債権が減少 した一方で、クラウドゲーム機「G-cluster」の仕入によりたな卸資産が増加いたしました。これらの結果、営業 活動によるキャッシュ・フローはマイナスとなりました。

(口)投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、マイナス267,459千円(前年同期はマイナス970,077千円)となりました。これは、リース資産を主とした固定資産の取得による支出295,951千円があったこと等によるものです。

(八)財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、マイナス12,666千円(前年同期はプラス186,141千円)となりました。これは、セール・アンド・リースバックによる収入164,529千円があった一方で、リース債務の返済153,305千円や配当金の支払97,890千円を実施したこと等によるものです。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)	
普通株式	128,000,000	
計	128,000,000	

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	66,723,516	66,723,516	東京証券取引所 JASDAQ スタンダード	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式です。 なお、単元株式数は100株となっております。
計	66,723,516	66,723,516		

(2)【新株予約権等の状況】 該当事項はありません。

- (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】 該当事項はありません。
- (4)【ライツプランの内容】該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備 金増減額 (千円)	資本準備 金残高 (千円)
平成25年7月1日~ 平成25年9月30日		66,723,516		2,666,633		2,270,490

(6)【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合 (%)
SBBM株式会社	東京都港区東新橋1丁目9-1	22,246	33.34
SBIエンタテインメントファンド 2 号	東京都港区六本木1丁目6-1	12,523	18.77
SBIホールディングス株式会社	東京都港区六本木1丁目6-1	7,593	11.38
橋本 太郎	東京都文京区	619	0.93
楽天証券株式会社	東京都品川区東品川4丁目12-3	532	0.80
野村信託銀行株式会社(投信口)	東京都千代田区大手町2丁目2-2	500	0.75
株式会社エフプレイン	東京都港区西麻布3丁目20-16	500	0.75
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町1丁目2- 10	494	0.74
株式会社SBI証券	東京都港区六本木1丁目6-1	404	0.61
佐藤 栄治	愛知県名古屋市中川区	401	0.60
計		45,816	68.67

⁽注)当社は、自己株式1,507千株(2.26%)所有しておりますが、上記の大株主から除いております。

(7)【議決権の状況】 【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,507,300		
完全議決権株式(その他)	普通株式 65,213,800	652,138	
単元未満株式	普通株式 2,416		1 単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	66,723,516		
総株主の議決権		652,138	

⁽注) 「単元未満株式」欄には、当社所有の自己株式32株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する所 有株式数 の割合 (%)
(自己保有株式) ブロードメディア株 式会社	東京都港区赤坂8丁目4-14	1,507,300		1,507,300	2.26
計		1,507,300		1,507,300	2.26

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間において、役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1.四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2.監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,960,949	2,223,456
受取手形及び売掛金	1,998,166	1,517,046
商品及び製品	10,675	484,514
仕掛品	134,109	105,850
原材料及び貯蔵品	104,689	151,742
番組勘定	996,938	1,195,992
その他	1,191,992	879,938
貸倒引当金	2,967	2,562
流動資産合計	7,394,553	6,555,979
固定資産		
有形固定資産		
リース資産(純額)	1,562,357	1,540,420
その他(純額)	220,334	214,884
有形固定資産合計	1,782,691	1,755,304
無形固定資産		
のれん	88,506	62,759
その他	425,758	370,881
無形固定資産合計	514,264	433,640
投資その他の資産		
投資有価証券	2,379,160	2,291,841
その他	462,784	623,470
貸倒引当金	3,572	8,222
投資その他の資産合計	2,838,371	2,907,089
固定資産合計	5,135,328	5,096,035
資産合計	12,529,881	11,652,014

-	*** **		_	_
_	単位	•	ᄑᄔ	цι
	= 11/	-	-	7,

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成25年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	710,322	838,867
短期借入金	456,000	530,000
未払法人税等	146,480	95,365
賞与引当金	122,973	133,756
その他	2,408,211	2,180,798
流動負債合計	3,843,987	3,778,788
固定負債		
退職給付引当金	79,720	89,089
役員退職慰労引当金	74,249	79,749
リース債務	1,479,494	1,461,534
その他	121,838	71,381
固定負債合計	1,755,302	1,701,756
負債合計	5,599,290	5,480,544
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,666,633	2,666,633
資本剰余金	2,270,490	2,270,490
利益剰余金	1,569,355	775,553
自己株式	228,445	228,445
株主資本合計	6,278,034	5,484,232
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,523	40,857
繰延ヘッジ損益	10,763	-
為替換算調整勘定	32,426	40,177
その他の包括利益累計額合計	67,712	81,034
少数株主持分	584,843	606,202
純資産合計	6,930,591	6,171,470
負債純資産合計	12,529,881	11,652,014

(単位:千円)

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】 【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

前第2四半期連結累計期間 当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 (自 平成25年4月1日 至 平成24年9月30日) 至 平成25年9月30日) 売上高 6,321,422 6,323,097 売上原価 4,352,324 4,309,487 売上総利益 1,969,098 2,013,610 1,918,355 2,319,175 販売費及び一般管理費 営業利益又は営業損失() 50,742 305,565 営業外収益 652 受取利息 7,427 受取配当金 1,426 1,100 3,386 29,787 為替差益 8,053 その他 11,866 営業外収益合計 13,519 50,181 営業外費用 支払利息 57,581 68,695 持分法による投資損失 76,525 242,709 その他 9,390 3,323 314,728 営業外費用合計 143,497 経常損失() 79,235 570,112 特別利益 10 固定資産売却益 327 投資有価証券売却益 段階取得に係る差益 53,118 持分変動利益 133,637 53,446 特別利益合計 133,647 特別損失 減損損失 46,059 投資有価証券評価損 1,593 特別損失合計 1,593 46,059 税金等調整前四半期純損失() 27,382 482,523 法人税、住民税及び事業税 50,100 77,182 法人税等調整額 21,382 114,912 法人税等合計 71,483 192,094 少数株主損益調整前四半期純損失() 98,865 674,618 少数株主利益 776 21,359 四半期純損失() 99,642 695,977

【四半期連結包括利益計算書】 【第2四半期連結累計期間】

(単位:千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	98,865	674,618
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,845	16,334
繰延ヘッジ損益	-	10,763
為替換算調整勘定	2,757	7,750
その他の包括利益合計	2,087	13,322
四半期包括利益	100,952	661,296
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	101,729	682,655
少数株主に係る四半期包括利益	776	21,359

(単位:千円)

前第2四半期連結累計期間 当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 (自 平成25年4月1日 至 平成24年9月30日) 至 平成25年9月30日) 営業活動によるキャッシュ・フロー 27,382 税金等調整前四半期純損失() 482,523 減価償却費 206,774 247,674 減損損失 46,059 のれん償却額 33,680 25,746 貸倒引当金の増減額(は減少) 2,877 4,243 賞与引当金の増減額(は減少) 10,782 12,278 役員退職慰労引当金の増減額(は減少) 5,500 5,500 受取利息及び受取配当金 2,079 8,527 支払利息 57,581 68,695 持分法による投資損益(は益) 76,525 242,709 投資有価証券売却損益(は益) 327 投資有価証券評価損益(は益) 1,593 段階取得に係る差益 53,118 持分変動損益(は益) 133,637 売上債権の増減額(は増加) 259,486 481,119 198,016 たな卸資産の増減額(は増加) 691,687 仕入債務の増減額(は減少) 386,594 128,545 未払又は未収消費税等の増減額 24,357 73,180 その他の資産・負債の増減額 332,892 161,536 その他 10,371 32,029 小計 86,646 322,044 利息及び配当金の受取額 26,832 33,517 利息の支払額 57,972 69,789 法人税等の支払額又は還付額(は支払) 8,175 127,452 営業活動によるキャッシュ・フロー 63.680 485.769 投資活動によるキャッシュ・フロー 固定資産の取得による支出 598,130 295,951 投資有価証券の取得による支出 79,500 10,000 投資有価証券の売却による収入 588 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得によ 889 る支出 定期預金の純増減額(は増加) 149,485 貸付けによる支出 140,000 280,000 貸付金の回収による収入 646 300,000 差入保証金の差入による支出 11.408 6,301 差入保証金の回収による収入 8,098 4,780 20,013 その他 3 970,077 267,459 投資活動によるキャッシュ・フロー 財務活動によるキャッシュ・フロー 短期借入金の純増減額(は減少) 143,000 74,000 97,890 配当金の支払額 96,882 セール・アンド・リースバックによる収入 522,099 164,529 リース債務の返済による支出 96,076 153,305 財務活動によるキャッシュ・フロー 186,141 12,666 現金及び現金同等物に係る換算差額 1,467 28,402 721,723 737,492 現金及び現金同等物の増減額(は減少) 現金及び現金同等物の期首残高 3,480,249 2,960,949

EDINET提出書類 ブロードメディア株式会社(E05269) _____ 四半期報告書

現金及び現金同等物の四半期末残高	
光並及し光並与 5 18 00 日 1 州 17 7 8 16	

2,758,526

2,223,456

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日) 至 平成25年 9 月30日) (千円) 従業員給与 586,874 当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
	(千円)	(千円)
現金及び預金勘定	2,958,526	2,223,456
預入期間が3か月を超える定期預金	200,000	
	2,758,526	2,223,456

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1.配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1 株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月21日 定時株主総会	普通株式	97,824千円	1.50円	平成24年 3 月31日	平成24年 6 月22日	利益剰余金

2.基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1 株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月26日 取締役会	普通株式	97,824千円	1.50円	平成24年9月30日	平成24年12月10日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1 株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月21日 定時株主総会	普通株式	97,824千円	1.50円	平成25年3月31日	平成25年 6 月24日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コンテンツ	放送	スタジオ	技術	ネットワーク 営業	合計
売上高	1,330,292	1,700,476	1,518,507	702,453	1,069,692	6,321,422
セグメント利益又は損失()	88,817	67,307	106,714	17,225	94,706	50,742

2.報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益に計上した額は一致しており、記載すべき事項はありません。

3.報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「技術」セグメントにおいて、持分法適用の関連会社であったデジタルシネマ倶楽部㈱の株式を追加取得したことにより、同社を連結子会社としました。なお、当該事象によるのれんの発生額は、当第2四半期連結累計期間においては79,331千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

報告セグメント						
	コンテンツ	放送	スタジオ	技術	ネットワーク 営業	合計
売上高	1,361,216	2,095,178	1,253,725	853,660	759,316	6,323,097
セグメント利益又は損失()	243,939	70,322	66,053	26,534	92,429	305,565

2.報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業損失に計上した額は一致しており、記載すべき事項はありません。

3.報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「コンテンツ」セグメントにおける事業用資産について、減損損失を認識いたしました。なお、当該減損 損失の計上額は、第2四半期連結累計期間において46,059千円であります。

(のれんの金額の重要な変動) 該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益) 該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
1 株当たり四半期純損失金額	1円53銭	10円67銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額 (千円)	99,642	695,977
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純損失金額(千円)	99,642	695,977
普通株式の期中平均株式数(株)	65,216,184	65,216,184

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象) 該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

EDINET提出書類 プロードメディア株式会社(E05269) 四半期報告書

第二部【提出会社の保証会社等の情報】 該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月7日

ブロードメディア株式会社

取 役 会 御 中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 公認会計士 業務執行社員

望月 明美 ΕIJ

指定有限責任社員 業務執行社員

公認会計十 中山 一郎 ЕΠ

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているブロードメディ ア株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日 から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期 連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結 キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結 財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表 を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対す る結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠 して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質 問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認 められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認め られる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ブロードメディア株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の 財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示し ていないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注)1.上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報 告書提出会社)が別途保管しております。
 - 2. 四半期連結財務諸表の範囲には X B R L データ自体は含まれていません。